

健やかねっと

健和会大手町病院 広報誌 SUKOYAKA NET

2023

vol.106

9月号

Advance Care Planning



ACPプロジェクトチームの取り組み

もしもに備えて
「人生会議」しておきませんか？

健やかTOPICS2・3

在宅療養への取り組み 4

職場だより(医療社会科) 5

外来担当医師 6

人生会議の 進め方

STEP5

考え、話し合ったことを 書き留めておきましょう

書き留めることで、いつでも振り返ることができます。家族や医療・介護関係者と内容を共有しましょう。

STEP1

大切にしたいことは どんなことか考えましょう

好きなこと、嫌いなこと、人生の目標や大切にしていること、どんな医療・ケアを受けたいかなど。

考えてみましょう

～例えばこんなこと～

- 音楽が大好き
- 少しでも長生きしたい
- ペットと過ごしたい
- 食べることはいつまでも楽しみたい
- 命を延ばすだけの治療は受けたくない

STEP2

あなたの代わりに 気持ちを伝えて くれる人を選びましょう

あなたの希望を理解し、尊重できる人は誰？（親、夫、妻、兄弟姉妹、子ども、友人など）

STEP3

かかりつけ医に相談しましょう

病状や治療について、わからないことを聞きましょう（病気療養中でない方は省略）。

STEP4

あなたの思いについて信頼 できる人や医療・介護関係 者と話し合しましょう

なぜそう思うのか？
その理由も話し合
いましょう。

ここが
大切！

“もしも”のときの医療、あなたはどうか考える？

実際の医療現場では、どこまでの処置を行うかの判断が難しいケースがあります。あなたならどうしてほしいか、考えてみましょう。

1. 心肺停止になったとき

人工呼吸

気管挿管

口や鼻から、気管にチューブを挿し込んで人工呼吸器につなぎ、肺に酸素を送ります。

麻酔で眠らせて処置するので、苦痛は感じません。

気管切開

人工呼吸器が必要な状態が長く続く場合は、のどの皮膚を切開して気管に穴を作り、チューブをつなぎます。



NPPV

気管挿管や気管切開を行わず、マスクを顔面に固定して行う人工呼吸です。

心臓マッサージ（胸骨圧迫）

心臓の上を圧迫して、血液を脳や体全体に送ります。

高齢者の場合、骨が折れるなど、かえって体に大きなダメージを与えてしまうこともあります。

除細動

心臓が痙攣し、細かく震えている状態のときは、電気ショックを与えることにより、心臓の動きが正常に戻ることがあります。

2. 口から食べられなくなったとき

経鼻栄養

鼻から胃までチューブを通して、栄養剤を送ります。

起きている状態でも処置できます。鼻にチューブが入ったままになるので、不快に感じることがあります。

胃ろう

おなかに小さな穴をあけてチューブをつなぐ道を作り、胃に直接、栄養剤や流動食を送ります。

内視鏡による手術が必要です。



中心静脈栄養

心臓に近い太い静脈に、点滴のチューブを挿して栄養剤を送ります。

胃ろうには、口のリハビリ（食べたり話したりする訓練）を行いやすいという長所があります。口から食べられるようになれば、胃ろうを閉じることもできます。

ACPプロジェクトチームの取り組み

もしもに備えて「人生会議」しておきませんか？

健和会大手町病院では、2021年度からACPプロジェクトチームを立ち上げました。

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは患者さん自身がもしもの時に備え、医療・ケアについての希望や思いを家族や医療・介護関係者と一緒に話し合っておくことで、別名「人生会議」とも言います。

ACPに取り組む背景

長寿世界一である日本は超高齢化社会を迎え、多死社会に突入しようとしています。地域の医療従事者のみなさまが、日々医療現場で接する高齢者の割合はこれからも増え続けると同時に社会的問題や倫理的問題などから治療方針に難渋することもますます増えてくるでしょう。高齢者は生活環境、社会的問題も複雑になりがちで、疾患の治療だけではその人らしい生き方を支えていくには限界があります。

これからの医療に求められるものは、“生活”を見据えた治療であり、病院完結型の治す医療から、地域完結型の治し支える医療への視点です。私たちは、“断らない医療”をモットーに外傷患者から、急性疾患、慢性疾患など幅広く様々な患者を受け入れている大手町病院だからこそできることがある」と考え、ACPプロジェクトチームを立ち上げました。



「人生会議」での私たちの関わり方

私たちが目指すのは、“おまかせ”の医療・ケアではなく、“治し支える”医療・ケアの提供です。そのためには、我々医療従事者だけでなく、患者さん・ご家族もチームの一員として積極的に治療やケアに参加していただく必要があります。

ご自分の病気を我々医療者に「おまかせ」にするのではなく、「自分事」として病気に向き合ってください。我々医療者と十分なコミュニケーションを通じて対等な信頼関係を構築し、いろいろな知識を得た上で、納得して治療を受けてください。いわゆる皆さんの「患者力」がとても大切です。

ご自分やご家族の病気に向き合うことは、ご自分のからだとうまく付き合えるようになるきっかけとなり、価値観の変化にも繋がっていきます。そして「どう生きていきたいか」を考えるからこそ「最後にどう過ごしたいのか」に辿り着くことができると考えています。

多職種連携チームで

「治し支える」

健和会は急性期病院をはじめ、慢性期病院、診療所、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、歯科診療所から構成されています。その利点を生かし、健和会を中心に、他院、クリニック、施設などと連携し、地域一丸となり、患者さん・ご家族が中心となった多職種連携チームでスムーズな医療提供（patient journey support）が行えることを目標とし、院内外をはじめとした啓発活動や情報共有のシステム構築に取り組んでいます。

地域で“暮らし”そして“生ききる”ために、人と人、地域を繋ぐ架け橋となることを目指します！「これからのこと」一緒に考えていきましょう！

「人生会議」についてのご相談は

☎093-592-3386 医療社会科 まで

地域の医療・介護チームの一員として 在宅療養を支えます

～訪問看護師の役割～

健和会訪問看護ステーションのぞみ 所長 久保 敦子

「病気や障害があっても住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で過ごしたい」と望まれる方が増えていきます。でも「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか?」「一人暮らしだけ大丈夫?」と不安に思う方もおられるでしょう。そんな時、訪問看護師は在宅ケアサービスの一員として、「一人でも多くの笑顔のために」「一人ひとりが安心して安全に生活できるように」在宅療養を支えます(生活できるように支援していきます)。



▲大手町病院をはじめ健和会では、多くの職種と連携し入院から退院後も継続して支援していきます。

①訪問看護師の役割

* 訪問看護とは、医師(主治医)の指示に基づき、看護師が利用者のご自宅や入所先の施設に訪問して、病気や障害に応じた看護を行うことです。また、ご家族の相談対応や医師やケアマネジャーなど、一人の利用者様に関わる多くの関係者と連携しながら支援していきます。

* 利用者様、ご家族の意思や生活を尊重しながら、一人ひとりに寄り添い支援していきます。

* 主治医の指示のもと、健康状態の観察・病状悪化の防止・療養生活の相談など、幅広い看護対応を行っています。

②ケアマネジャー(介護支援専門員)

在宅療養中は医療の力だけでなく、介護の力も必要になります。医療と介護の橋渡し役となる存在がケアマネジャーです。例えば、ご自宅で必要な福祉用具のレンタルや訪問入浴、ヘルパー等の必要なプランを作成します。



健和会の訪問看護ステーションおよび居宅介護支援事業所

訪問看護ステーションのぞみ	☎ 592-5805	小倉北区大手町14-22
訪問看護ステーションコスモス	☎ 881-7505	戸畑区新池2-2-4重松ビル201
大手町ケアプランセンター	☎ 592-5080	小倉北区大手町14-22
戸畑けんわケアプランセンター	☎ 873-5610	戸畑区新池2-2-4重松ビル201
けんわ南ケアプランセンター	☎ 963-8717	小倉南区徳力1-1-8高嶋ビル1F

職場 だより 医療社会科

心理的、社会的な問題の解決を 支援します



患者さんやご家族が安心して療養できるように、医療ソーシャルワーカーが心理的、社会的な問題の相談に応じ解決に向けて支援を行っています。

1階の患者サポートセンターにお気軽にご相談ください。プライバシーに配慮した個室の相談室でお話を伺います。

こんなときはご相談ください

- 退院後の生活に不安がある
- 介護が必要になったので介護サービスを利用したい
- 障害が残ったので利用できる制度のことを知りたい
- 医療費や生活費のことが心配
- 地域の医療機関や介護施設の情報を知りたい
- 困っていることがあるが、どこに相談していいかわからない



当院では無料低額診療事業を行っています

経済的に困難のある方にも適切な治療を受けていただくために、無料または低額で診療を行うもので、社会福祉法に定められている事業です。

医療費の支払いができずに治療を中断したり、受診が手遅れになったりすることのないように、医療ソーシャルワーカーが経済的な事情を詳しくお伺いし、様々な制度の活用も含めて支援をしています。

まずはご相談ください。

医療社会科 TEL 093-592-3386



外来担当医師 (9月予定)

休診日のお知らせ 赤枠 …休診日

診療受付 午前…8:40～11:30 午後…13:30～16:00 ※午後は予約のみです。
(初診の受付は午前 8:40～11:00まで)

診療時間 午前…9:00～12:00 午後…14:00～17:00

休診日 日曜・祝日、第2・4土曜、年末年始(12月30日～1月3日)

9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

ご注意ください

- 第2・第4土曜日は休診になります。
- 診療体制が変更される場合がありますので、詳細はお問い合わせください。
- 午後の内科診療は、予約の方を対象とした専門外来のみです。
- 水曜の耳鼻科は検査のため11時以降1時間程度中断することがあります。

	月	火	水	木	金	土
内科	午前 鐘ヶ江靖夫(初・循環器) 下園孝治(初・再診) 是永秀樹(糖尿) 山口征啓(初診)	内村作子(糖尿) (3週除く) 田場正直(循環器) 下園孝治(初診) 龍野奈央子(消化器) 根井貴仁(SAS)	渡辺周(初・血液) 是永秀樹(糖尿) 原田浩介(初・再診) 竹中仁(循環器) 春木明代(脳神経内科)	下園孝治(初・再診) 佐竹真明(消化器) 中尾英太郎(初診) (不定期) 河野俊一(循環器) (4週除く) 井上三保子(高血圧)	名和田彩(膠原病) 内村作子(内科・糖尿) 下園孝治(初・再診) 阿部陽子(初診)	田場正直(循環器) 是永秀樹(糖尿) 非常勤医師(初診)
外科	午前 松山晋平 松山純子	三宅亮 久保佑樹	古城都 梅田滉弥	三宅亮 香川正樹	山下さくら 奥川郁	①三宅亮③古城都 ⑤松山純子
整形外科	午前 酒井和裕(手外科) 馬渡玲子	古川雄樹(手外科) 濱崎将弘(脊椎外科)	吉野興一郎(リウマチ) 原口和史(関節外科)	永吉信介 酒井和裕 (手外科・スポーツ) 久保博之	古川雄樹(手外科) 濱崎将弘(脊椎外科) 佐々木悠	輪番 ③辻王成
脳神経外科	午前 岡崎光希(初・再診)	藤山雄一(初・再診)		岡崎光希(初・再診)	藤山雄一(初・再診)	①⑤輪番 ③末廣栄一
産婦人科	午前 佐々木俊雄 今井彰子 妹尾悠	佐々木俊雄 今井彰子	佐々木俊雄 今井彰子 妹尾悠	佐々木俊雄 今井彰子	佐々木俊雄 今井彰子 妹尾悠	輪番
耳鼻科	午前 土生秀明 増野賢二	増野賢二	土生秀明 増野賢二	土生秀明 増野賢二	土生秀明 増野賢二	土生秀明
皮膚科	午前 山本淳子	田島翔子	大橋隆宏	山本淳子	田島翔子	輪番
形成外科	午前 増田大介	多田英行	増田大介		多田英行	輪番
泌尿器科	午前 菅野貴洋	松田健二	栗栖弘明	池田英夫	池田英夫	輪番
眼科	午前 高尾瑞季(産医大)	奥一真(産医大)	浅野真美加(産医大)		浅野真美加(産医大)	

午後 (予約制)	高血圧	井上三保子(月曜)
	脳神経外科	パーキンソン・てんかん・痛み専門(①③⑤月曜・①土曜) 井本浩哉(山口大学脳神経外科)
	労働衛生	田村昭彦(第2・4月曜)
	病理診断	松木康真(水曜・金曜)
	フットケア外来	石井義輝(第2火曜)
	消化器内科	大野朋子(水曜)
	循環器内科	河野俊一(第2木曜/13:30～17:00)
	呼吸器内科	茂見紗喜(火曜/13:00～16:00)
	呼吸器内科	榊原秀樹(金曜/14:00～17:00)

インフォメーション Information

当院で働ける栄養部門の正職員募集しています!

募集 栄養士、調理師、調理スタッフ

- 時間 シフト制
- 業務内容 入院食調理業務全般 ●賃金 当院規定
- 待遇及び福利厚生 交通費支給、社会保険(健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金)賞与2回、各種手当、定期昇給あり、リフレッシュ休暇等あり



お問い合わせ

〒803-8543
福岡県北九州市小倉北区大手町15-1
公益財団法人健和会
栄養部門 西村早苗
●TEL 093-592-1171



●広報誌に関するご意見・ご要望は左記までお願いします。
差出先の明記がある方には直接ご連絡にて説明させていただきます。

健和会大手町病院 広報委員会
公益財団法人 健和会

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町13-1
TEL 093-592-5511(代)

FAX 093-592-5966
E-mail renkei@kenwakai.gr.jp

https://otemachi.
kenwakai.gr.jp/